

令和5年2月定例会

予算決算委員会資料
(都市整備部)

優良建築物等整備事業費補助金について

1 事業目的

一定の要件を満たす都市機能誘導区域において、適正に管理されることなく空きビルとなっていた低未利用地に、民間事業者が優良建築物を整備する事業である。

本事業により、土地利用の共同化・高度化、市街地環境の向上が図られるとともに、川反地区・南通地区・有楽町地区のにぎわいの連続性に繋がり、付近一帯の活性化が期待されることから、施行者である民間事業者に対し、整備に係る費用の一部を補助して事業の促進を図るものである。

2 事業概要

- (1) 施行者 株式会社大雄産業
- (2) 事業箇所 有楽町地区（旧プレイタウンビルおよび隣接地／別紙参照）
- (3) 地区面積 約0.2ha
- (4) 建築物 マンション（鉄骨造地上5階建、11戸、1階は飲食店）
- (5) 事業期間 令和5年4月～令和6年4月

3 年度別事業費（予定）

- ・総事業費：約3.4億円
 - 調査設計計画：約0.3億円
 - 既存建物除去：約1.2億円
 - 建築物等工事：約1.9億円

（単位：千円）

年度	補助対象経費 (A)	市事業費(B) = (A) × 2/3	国費(C) = (B) × 0.5	一般財源 = (B) - (C)	実施概要
5	102,300	68,200	34,100	34,100	設計、解体工事、建築工事、工事監理等
6	1,350	900	450	450	建築工事、工事監理
合計	103,650	69,100	34,550	34,550	

4 令和5年度事業費

- ・旅費 148千円
 - ・補助金 68,200千円（特定財源：国 34,100千円）
-
- 計 68,348千円

1 位置図



2 完成予想パース

南東から北西を臨む



大規模盛土造成地調査経費について

1 調査の目的

大規模な盛土を行った造成宅地において、大地震が発生した際、全国的に活動崩落などの大きな被害が発生していることから、国の指針に基づき、大規模盛土造成地を抽出し、大地震時における変動予測調査を行うことにより、大規模盛土造成地の安全性を評価するものである。

2 令和5年度調査概要

○第二次スクリーニングの実施

詳細調査が必要な大規模盛土造成地について、地盤調査および安定計算等を行い、大地震時における盛土の安全性を評価する。

- ・地盤調査、安定計算等（1箇所：御所野地区）

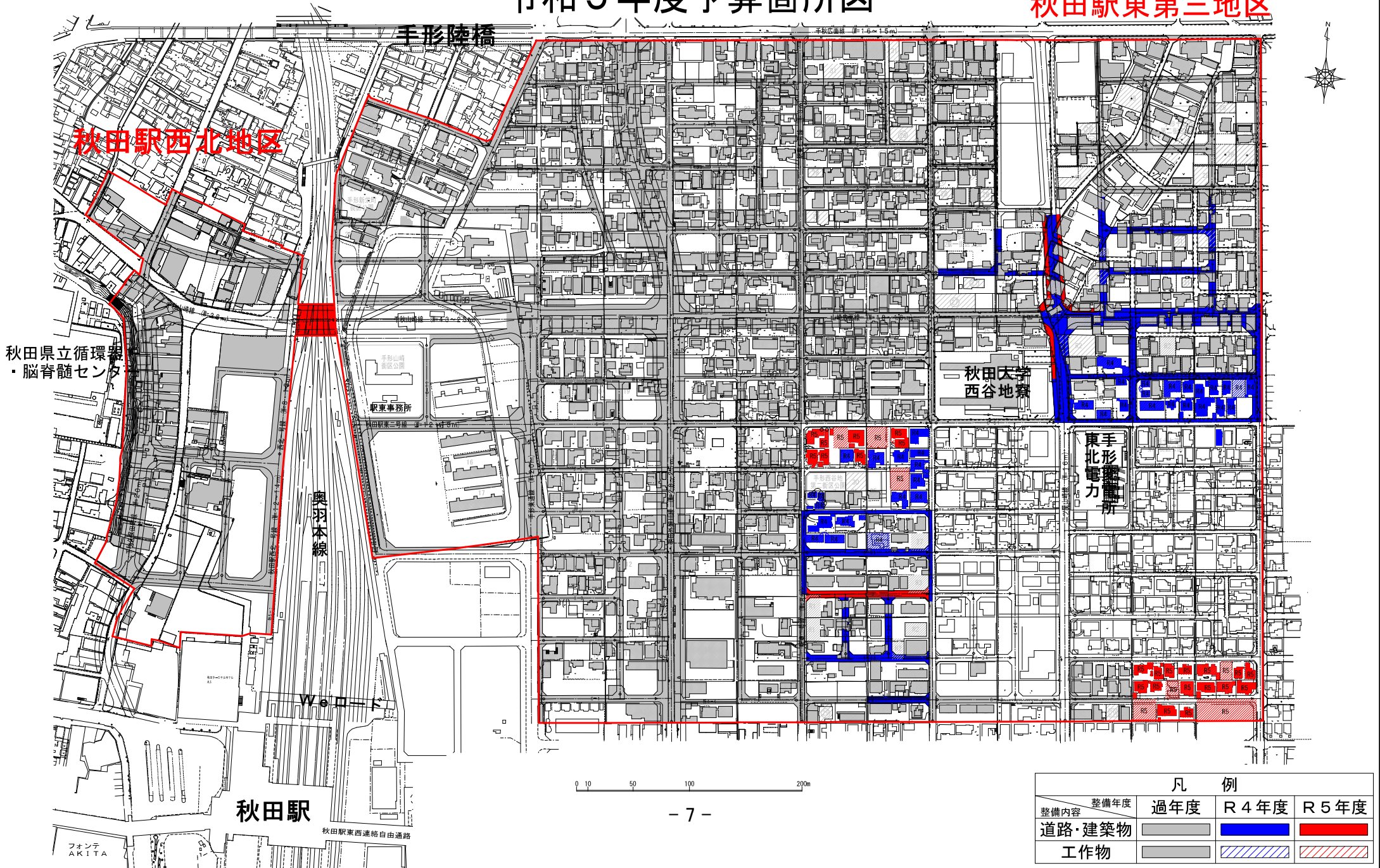


3 これまでの経緯と今後のスケジュール（予定）

- H30年度 第一次スクリーニング（地形データ等調査による盛土の抽出）
大規模盛土造成地マップを作成・公表（261箇所）
- H31年度 第二次スクリーニング計画調査（現地踏査、造成年代調査等）
大規模盛土造成地箇所の精査（261箇所 → 240箇所）
- R2年度 早期に第二次スクリーニングの必要性が高い箇所の抽出（12箇所）
- R3年度 簡易地盤調査、擁壁危険度判定評価（12箇所）
第二次スクリーニングの実施計画の作成
（早期に詳細調査を行う第二次スクリーニング箇所は3箇所を予定）
- R4年度 第二次スクリーニングの実施（2箇所） 山手台地区
-
- R5年度 第二次スクリーニングの実施（1箇所） 御所野地区

秋田駅西北・東第三地区土地区画整理事業 令和5年度予算箇所図

秋田駅東第三地区



		凡 例		
整備内容	整備年度	過年度	R 4 年度	R 5 年度
道路・建築物		■	■	■
工作物		■	■	■